



沖縄県立図書館
公式ホームページ
QRコード

■ ベッテルハイム来琉180年

今年（2026年）はベッテルハイムが琉球に来てから180年目になります。えっ、ベッテルハイムって誰？ おっと、そうですか。はい、では今回はこの「ベッテルハイム」なる人について少しお話ししましょう。

ベッテルハイムはフルネームをバーナード・ジャン・ベッテルハイム（Bernard Jean Bettelheim）と言い、スロバキアのブラティスラバ出身のユダヤ人のお医者さんです。ブラティスラバは、当時はプレスブルクと呼ばれハンガリー領だったため、ベッテルハイムは「ハンガリー人」と書かれたり、後にイギリスに帰化するため「イギリス人」と書かれたりすることもあります。どちらも間違いではありません。

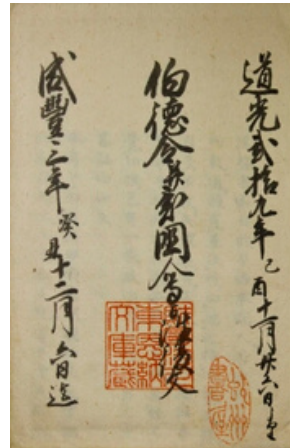
イタリアの名門パドヴァ大学で医師免許を取得したベッテルハイムは、トルコで軍医として勤務しますが、この時プロテスタントの教えに出会い、ユダヤ教からキリスト教へと改宗しました。彼を改宗へと導いたのがイギリス国教会の宣教師だったことから、ベッテルハイムはイギリスへ渡り、宣教師を目指すようになります。そうこうするうちに、イギリス海軍の退役軍人らが設立した海外宣教団体「英国海軍琉球伝道会」が琉球への派遣宣教師を募っている事を知り応募、見事にその職を射止めます。こうして、約半年かけて地球を半周し、ベッテルハイムは琉球にやって来ることになりました。那覇港への到着は1846年4月30日、翌々日の5月2日に琉球上陸、この日から約8年3ヶ月にも及ぶ琉球滞在が始まったのでした。ちなみに、この滞在期間は19世紀に琉球に暮らした西洋人としてはぶっちぎりの最長記録です。

さて、彼の琉球での暮らしですが、思い描いていた宣教師生活とはだいぶ異なるものだったでしょう。住まいとなった波の上の護国寺には、監視役の役人が常駐し、彼らが外出の際もぞろぞろついてきて煩わしい上に宣教活動にも干渉してくる、言うことはきいてくれない、日用品を自由に買うこともできない、こういった不満をベッテルハイムは日誌のなかでたびたび愚痴っています。そうは言っても、当時の琉球はキリスト教はご禁制の時代です。王府としては勝手に布教されてはマズいのです。ベッテルハイムにとってみれば、そんなことは知ったことではないので、那覇や首里の街を歩いては、街頭で演説をぶったり、民家にキリスト教の布教冊子を投げ込んだりと、せっせとミッションに励みます。しかも語学の天才なので、聖書を琉球語訳したり、英琉辞書をつくったりと王府にとってはかなり頭の痛い存在です。琉球側の役人との丁々発止も日誌にはたびたび書かれています。興味深いのは、互いの主張を書面（漢文）で公式にたたかわせているということです。当館の東恩納寛惇文庫にも「伯徳令其他往復文」（伯徳令はBettelheimの漢字表記）として、その書簡の写しが収蔵されています。膨大なやりとりを追いかけていくのは骨が折れますが、役目も立場も考え方も違う両者が、ワジワジしながらも粘り強く議論（書面ですが）を重ねる姿は非常に面白く、また、きな臭い現在を生きる我々にとっても示唆的です。

さきほどから筆者が「日誌」と呼んでいるのは、ベッテルハイムが派遣元の英国海軍琉球伝道会に送った業務日誌のことです。これには当時の琉球の暮らし、風景、言語や民俗などがタイムカプセルのように保存されています。彼自身は想像もしなかったでしょうが、この日誌は180年後の私たちに、当時を生きた琉球の市井の人々の体温を感じさせてくれる史料となっているのです。日本語訳は『沖縄県史』の資料編シリーズから『ベッテルハイム日誌および公式書簡』というタイトルで刊行中で、2026年4月現在、1851年までの部分を読むことができます。当館にはもちろん、県内のすべての公共図書館に所蔵されています。琉球王府との往復書簡も同書に収録されていますので、ご興味のある方はぜひお手にとってみてください。（本村）

参考文献

照屋善彦『英宣教医ベッテルハイム——琉球伝道の九年間——』人文書院、2004年
沖縄県教育庁文化財課史料編集班編『沖縄県史 資料編26 ベッテルハイム日誌および公式書簡 Part I (1845-51)』沖縄県教育委員会、2022年



「伯徳令其他往復文 上」
沖縄県立図書館貴重資料デジタル書庫
資料コード：1002005328

利用案内

開館時間 9：00～20：00

休館日 火曜日・年末年始・特別整理期間

※図書館専用の駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください

■ 館内への食べ物の持ち込みはご遠慮ください

飲み物は、密閉できる容器であればお持ち込みいただけます

※5階郷土資料室は完全飲食禁止です

■ 携帯電話などの通信機器はマナーモードに設定してください

お電話は4階・5階の電話ボックスをご利用ください

■ 館内は撮影禁止です。撮影には別途申請が必要です

図書館カレンダー4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		
■ は休館日です。						

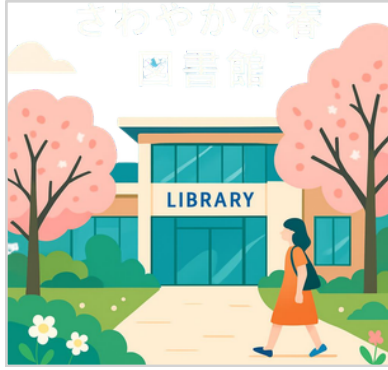
新しい一歩、本との出会いから。

うりずんの爽やかな風が吹き抜け、新しい季節が始まりました。進学や進級、新生活など、輝かしい一歩を踏み出す皆さま、誠におめでとうございます。沖縄県立図書館も、今月より新たな運営方針のもと、皆さまの「知りたい」「学びたい」を支えるパートナーとして、より一層サービスの充実に努めてまいります。この春、心躍る一冊との出会いを探しに、ぜひ当館へお越しください。

おしらせ 第2次沖縄県立図書館運営方針を策定しました。

「第1次沖縄県立図書館運営方針（令和3年度～7年度）」が期間満了を迎えることから、これまでの成果と課題を踏まえた次期方針の検討を行い、沖縄県立図書館協議会の審議を経て、令和8年3月「第2次沖縄県立図書館運営方針（令和8年度～12年度）」を策定しました。

当館では、これからも皆さまの課題解決をサポートする図書館として、新たな運営方針のもと、さらなるサービスの充実に努めてまいります。本との出会いを通じて、皆さまの暮らしがより豊かなものになるよう、職員一同邁進してまいります。



詳細は沖縄県立図書館ホームページよりご覧いただけます。

イベント 参加無料 申込不要 りっかりかたとしょかん オープニングイベント

皆さんは「図書館記念日」をご存じでしょうか。現在の図書館の発展の基盤となった「図書館法」が施行された昭和25年4月30日を記念し、日本図書館協会が制定しました。沖縄県図書館協会では、この記念日の趣旨に賛同し、「りっかりかたとしょかん（図書館へ行こう）」を合言葉に、図書館が「いつでも・どこでも・だれでも」利用できる場所であることを広く知っていただくための運動を展開しています。今年当館にて、朗読に合わせたピアノの演奏による特別なプログラムを開催いたします。美しい音色とともに、物語の世界を楽しみませんか？ 皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

ピアノ伴奏に合わせた本の朗読会

日時 4月18日（土）11：00～11：30

場所 沖縄県立図書館 3階コミュニケーションラウンジ



朗読 美里博子（沖縄可否の会）



ピアノ 美里真帆

申し込み不要、参加無料です♪
たくさんのご参加お待ちしております。



登録スタッフ おすすめ 新着図書紹介

沖縄県立図書館では、**毎週水曜日**に新着図書が新着図書コーナーに展示されます。
ここでは「県立図書館の本のデータ登録」をしているスタッフが「これぞ！おすすめ！」と感じた本をご紹介します。 ※こちらで紹介された本は新着図書コーナーに展示した後、それぞれ本棚に戻されます。貸出、予約は資料コードをご利用ください。

■郷土資料（琉球・沖縄関係資料）5階

黒い龍とがじゅまる

座安 小子／作、ひが さら／絵、豊見城市立座安小学校PTA読み聞かせ部／企画
出版：豊見城市立座安小学校PTA読み聞かせ部 出版年：2025.3

内容紹介
1908年の植樹から114年、座安小学校のシンボルとして親しまれた「100年ガジュマル」。2022年の台風で倒木した大樹の記憶を語り継ごうと、地域の有志によるプロジェクトからこの絵本が生まれました。長きにわたり地域を見守り続けたガジュマルの生涯を通して、故郷の歴史や命の尊さを世代を超えて分かち合える一冊です。



予約用資料コード 1010474797

沖縄社会論 周縁と暴力

打越 正行／著 出版：筑摩書房 出版年：2025.12

内容紹介
沖縄の暴走族に「バシリ」として入り込み、若者たちの生を写した社会学者・打越正行氏の遺稿集です。自身を「つかえない内部関係者」と呼び、暴力の傍らで生活を共にしたからこそ見えた沖縄の建設業や格差の実態。上間陽子氏や岸政彦氏らによる解説も収録され、他者と真摯に向き合い続けた調査の極限が刻まれています。



予約用資料コード 1010588547

沖縄最後の追い込み漁 宮古島狩俣集落・友利組

大浦 佳代／著 出版：南方新社 出版年：2025.11

内容紹介
明治期に糸満で生まれた追い込み漁。その技を携え、沖縄の漁師たちは全国や海外の海へも挑みました。地形や潮流を読み、素潜りで魚を追い込む姿はまさに“海の狩人”。近代化で消えゆく中、今も宮古島で連続と営まれる伝統漁法の技と、海に生きる人々の精神を記した貴重な一冊です。追い込み漁の歴史や、自然と対峙する人間の逞しさに触れたい方にお勧めです。



予約用資料コード 1010588604

展示案内

沖縄県立図書館で予定されている展示をご紹介します。

自主企画展示 3階・4階・5階展示

3/25～4/6	安野光雅生誕100周年展示
3/25～4/13	新生活応援展示
3/18～4/20	年齢別おすすめ絵本展示
4/1～4/13	本屋大賞
4/7～4/20	朝ドラ展示
4/15～5/4	「りっかりっかとしょかん」関連展示
4/22～5/4	沖縄書店大賞

子どもの読書活動推進エリア

4/1～4/13	【絵本・子どもの本】テーマ どんどこ
4/1～4/20	【ティーンズ】テーマ エイプリルフル
4/15～	【絵本・子どもの本】テーマ 未定 おたのしみに！
4/22～	【ティーンズ】テーマ 未定 おたのしみに！

■一般図書 4階

写本に描かれた本たち 西洋中世からルネサンスにみる本の象徴性と実用性

ルーシー・フリーマン・サンドラー／著、加藤 磨珠枝／監修、立石 光子／訳
出版：白水社 出版年：2025.9

内容紹介
中世からルネサンスの写本には、多くの「本」が描かれています。聖母マリアが読む書物、記憶の象徴、時には権威の証として。大英図書館所蔵の貴重な図版と共に、描かれた本が持つ聖なる力や実用性を読み解きます。美しい挿絵を愛でながら、書物文化の奥深さに触れたい方や、西洋美術の図像学に興味がある方にお勧めです。



予約用資料コード 1010575692

建物種類ごと用語図鑑

編：建築知識 出版：エクスナレッジ 出版年：2025.11

内容紹介
駅の点字ブロックの正称や手術室の構造など、建物の「名前」と「仕組み」を徹底図解。住宅から公共施設まで、多彩な部位名称や構法を立体イラストで解説します。実務の知識更新にはもちろん、漫画や小説の背景設定、創作資料としても役立つこと間違いなし！街歩きでの「あの部分、何て呼ぶ？」を解決する一冊です。



予約用資料コード 1010575940

韓国インスタントラーメンの世界

チ ヨンジュン／著、中川 里沙／訳
出版：原書房 出版年：2025.11

内容紹介
日本で生まれた一杯は、いかにして韓国の国民食となり世界を席巻したのか。安藤百福の発明から各社の躍進、世界のラーメン事情までを網羅。日韓の歴史を体感できる施設や話題のスポットも紹介します。食文化の変遷や企業の成功物語に興味がある方はもちろん、麺料理を愛するすべての方にお勧めの一冊です。



予約用資料コード 1010575957



わらびんちゃ〜だより

子ども読書活動推進エリア担当職員が
今月のおすすめ本を紹介します♪



児童担当いとちゃん

4月6日は4（し）6（ろ）の語呂合わせから「城の日」です。

そこで今回は、日本に実際にあるお城から物語の世界まで、いろいろな「お城」を楽しめる3冊を選びました。

お殿様が住んでいる立派な日本のお城や、騎士が守るヨーロッパのカッコいいお城。

中には、砂で作った不思議なお城も！？

きみのお気に入りのお城を、ぜひ図書館で見つけてね！



えほん

3歳～におすすめ

すなのおしろ

たむらしげる／作 出版：偕成社 出版年：2001.7



だれもいないしずかなはまべ。ほくがすなのおしろをつくっていると、ふしぎな「すなおとこ」があらわれて……？！すなのりもものにのってまちをみたり、にぎやかなサーカスにさんかしたり。すなからうまれたものたちがたず、へんてこでたのしい「おと」にもちゅうもく！「こうなったらいいなあ」が詰まったうみべのファンタジー えほん。



予約用資料コード 1003701164

児童書

小学5～6年生におすすめ

図解と写真でよくわかる!日本の城200

藪内 成基／写真・文、小和田 哲男／監修 出版：講談社 出版年：2021.7



持ち歩きに便利な手のひらサイズの本に、全国200ものお城が大集合！迫力あるカラー写真と図解で、お城のヒミツを徹底紹介しています。いつ建てられたか一目でわかるデータや、石垣・お堀の解説も充実。基礎知識や歴史年表もついているので、初めての人から歴史好きまで、誰でも「お城博士」になれる最強の一冊です！



予約用資料コード 1009713643

トピック

きみも今日から「本の名探偵」！-レファレンス（調査・相談）カウンターで謎を解け！-

4月23日から「こどもの読書週間」が始まります。本の中には、驚くような発見や秘密がいっぱい！でも「読みたい本が見つからない」「調べたいことがあるけど、どの本を見ればいいの？」と困った時は、レファレンス（調査・相談）カウンターへ来てみてください。そこには、きみのナゾを一緒に解いてくれる「しらべもののプロ」がいますよ。例えば・・・

- ・「ガジュマルの木には、キジムナーがいるの？」
- ・「道で見つけた花の名前が知りたい！」
- ・「おじいちゃんちの玄関にある星型の貝が気になる！」

どんな小さな疑問でも大丈夫！レファレンス（調査・相談）カウンターの職員に話しかければ、きみの知りたい答えが隠れている「魔法の一冊」を探し出す手伝いをしてくれますよ♪
読書週間は、新しい知識を手に入れる大チャンス！
図書館を相棒にして、きみも「本の名探偵」として、たくさんの物語や歴史の謎を解き明かしてみませんか？

こどもの読書週間（4月23日～5月12日）ってなあに？

「子どもたちにもっと本を楽しんでほしい！」という願いから、1959年に始まりました。本を読むと、心が豊かになり、ものごとを正しく判断する力がつきます。本は、大人からみんなへの最高のプレゼントです。この機会に、一生の宝物になる一冊を見つけてね。

